年間授業計画 新様式

八王子北 高等学校 令和７年度　　教科 芸術書道　科目 書道Ⅱ

教 科： 教科 芸術書道　　科 目： 書道Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

教科担当者：

使用教科書：（ 『書Ⅱ』（光村図書） ）

教科 教科 芸術書道　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
優れた古典作品に触れ、その制作の背景を学び書体や作品の特徴的筆法・書風を理解し、臨書作品の制作に活かせる。	紙のサイズに合った線の太さや字の大きさを理解し、バランスの取れた作品に仕上げることが出来る。書の良さ、美しさ感受し、意図に基づいた構想を表現出来る。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書の伝統と文化を感受し、日常における調和のとれた手書き文字を表現出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	A 単元 オリエンテーション 【知識及び技能】 書道Ⅱで学習する内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 書道Ⅰと書道Ⅱの違いについて学習する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 書道Ⅰと書道Ⅱの違いについて学習する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用	○	○	○	○	【知識及び技能】 書道Ⅰと書道Ⅱの違いについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 今後、指示通り用具の扱いができるか。			○	6
	A 単元 篆書の学習 【知識及び技能】 篆書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の用筆について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 泰山刻石の作品を臨書する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	8
	A 単元 隷書の学習 【知識及び技能】 隷書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 隷書の用筆について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 曹全碑の作品を臨書する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	10
2学期	A 単元 草書の学習 【知識及び技能】 草書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 草書の用筆について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 真草千字文の作品を臨書する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	10
	A 単元 仮名の学習 【知識及び技能】 仮名の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 高野切等について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 真草千字文の作品を臨書する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用			○	○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 料紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	16
3学期	A 単元 水墨画の学習 【知識及び技能】 水墨画の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 水墨画について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた墨線と余白を表現出来る。	・指導事項 真草千字文の作品を臨書する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用				○	【知識及び技能】 墨線と余白についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙・半切１/３にバランス良く表現できたか。	○	○	○	20
											合計 70